

審査過程と講評

平成29年2月13日（月） 第1回審査委員会を開催

会場：都道府県会館410会議室

審査委員の委嘱、審査委員長の選任

実施日程、実施要領、審査方法についての審議を行いました。



平成29年2月23日（木） 設計者募集の公告

設計プロポーザルの実施を公告しました。

平成29年3月 9日（木）、10日（金） 現地説明を実施

両日で27設計事務所（54名の方）の皆様にご出席いただきました。



平成29年3月21日（火）～24日（金） 一次審査書類の提出

33者（うち単体27者、設計共同体6者）からご提出いただきました。

管理技術者の経歴、代表作品の概要、魅力を感じる美術館等についてお示しいただきました。

平成29年4月 3日（月） 第2回審査委員会（一次審査）を開催

会場：信濃美術館講堂

現地を確認した上、
概ね10者に選考する方法を審議し、
以下の審査過程を経て11者を選考
しました。



選考経過

1回目投票では各委員最大10票とし、意見交換のうえ、投票数が0票及び1票の者を外す。

□1回目投票結果

6票 : 1者

5票 : 2者

4票 : 4者

3票 : 4者

2票 : 6者

1票 : 7者

0票 : 8者

・総投票数63票

※ 1者は参加要件を満たすことが確認できなかったため、投票の対象外となりました。

33者から17者に絞り込み

2回目投票では各委員最大3票とし、意見交換のうえ、投票数の多い者を選考しました。

□2回目投票結果

3票 : 3者

2票 : 4者

1票 : 4者

0票 : 6者

・総投票数21票

17者から11者に絞り込み

□一次審査選考結果（11者を選考）

設計者名（受付順）	所在地
(株)陶器二三雄建築研究所	神奈川県
(株)プランツアソシエイツ	東京都
(有)乾久美子建築設計事務所	東京都
(株)新居千秋都市建築設計	東京都
(株)伊東豊雄建築設計事務所	東京都
(株)栗生総合計画事務所	東京都
(株)山下設計	2者JV 東京都
(株)山本理顕設計工場	神奈川県
(株)飯田善彦建築工房	神奈川県
(株)佐藤総合計画	東京都
(株)第一設計	長野県
(株)アーキプラン	3者JV 長野県
一級建築士事務所(有)SANAA事務所	東京都
(株)日建設計	東京都
(株)宮本忠長建築設計事務所	2者JV 長野県

平成29年5月 8日（月）～10日（水） 二次審査書類の提出

対象の11者（うち単体8者、設計共同体3者）全ての者から提出いただきました。

二次審査提出書類は提案書（A2サイズ）と業務の実施体制の書類を提出していただきました。

平成29年5月22日（月） 第3回審査委員会（二次審査）を開催

会場：都道府県会館410会議室

概ね3者を選考する方法をあらかじめ審議した上、意見交換をし、4者を選考しました。



□二次審査選考結果（11者から4者を選考）

設計者名（受付順）	所在地
(株)陶器二三雄建築研究所	神奈川県
(株)プランツアソシエイツ	東京都
(株)栗生総合計画事務所	東京都
(株)山下設計 2者JV	東京都
一級建築士事務所(有)SANAA事務所	東京都

平成29年 5月27日（土）、30日（火） 代表作品現地調査

審査委員の代表による現地調査を実施

平成29年6月 1日（木） 第4回審査委員会（現地調査報告会）を開催

会場：都道府県会館405会議室

実施した代表作品現地調査の報告と意見交換を実施しました。

平成29年6月 5日（月） 第5回審査委員会（三次（最終）審査）を開催

①公開プレゼンテーション 11時～15時10分

会場：長野県庁講堂

傍聴者 約300名

対象の4者による公開プレゼンテーション（各15分）と審査委員によるインタビュー（各25分）を実施しました。





②審議 15時30分～17時15分

会場：長野県庁議会増築棟第二特別会議室（審議）

選考の判断基準を改めて審議した上、各提案者についての意見交換をし、最適候補者及び次点候補者を選考しました。

□二次審査選考結果（4者から最適候補者と次点候補者を選考）

区分	設計者名
最適候補者	(株)プランツアソシエイツ
次点候補者	一級建築士事務所(有)SANAA事務所

③結果発表 17時45分

会場：長野県庁講堂

竹内順一委員長から結果発表を次のとおり行いました。

結果発表と講評

本日の三次審査では、各提案者によるプレゼンテーションと各委員によるインタビューを公開で実施し、提案の趣旨をより正確に把握した上で最適候補者等を選考しました。

最適候補者は 株式会社 プランツアソシエイツ

次点候補者は、一級建築士事務所 有限会社 SANAA 事務所

です。

本プロポーザルは、信濃美術館を整備し、基本構想に掲げた理念を実現する新たな「文化振興の拠点」とするため、事業を県とともに共同して進めるパートナーとして最も適した設計者を選考する目的で公募されました。

新美術館や隣接する公園部分などの施設の設計にあたっては、高度な専門的知識と審美眼を必要とする美術館建築固有の課題に加えて、地域の特性、計画地固有のさまざまな課題、施設整備に係る県民や関係者の意見や要望などを十分に理解した上で、基本構想に基づいて、発注者と設計者がコミュニケ

ーションを図りながら共同して、美術館の進化・成長などの将来も見据えた対応をできる者を求めて提案を募ったところ、33者の参加がありました。

信濃美術館設計プロポーザル審査委員会は、建築家、美術専門家による7名の委員と、長野市、善光寺、信濃美術館の代表3名のオブザーバーで構成され、それぞれの専門性を生かしながら4段階の審査を行ないました。

審査にあたっては、プロポーザル本来の趣旨のとおり、設計者を選考することを常に念頭におき、設計案の選考となることがないように十分配慮しながら、「美術館設計に係る高度な技術力とデザイン力」、「将来の拡張性を見越す視点」、「県民や関係者と一体となって設計を練り上げていく力量」を有する設計者を選考できるよう審査を進めて参りました。

設計者の技量や資質を適切に見極めるため、代表作品の現地審査も行うなど、今後のプロポーザルの実施に際して参考としていただける審査となったと考えております。

4月3日に開催された、一次審査では、33者から提出された提出書類について、主に設計者の実績を評価することとして、「管理技術者の代表作品」、「代表作の設計プロセス」、「設計方針」、「魅力を感じる又は設計コンセプトに共感する美術館」などについて各委員が資質評価の視点で設計者の能力や実績について評価し、投票と審議を重ねて、二次審査に進む11者を選考しました。

5月22日に開催された、二次審査では、一次審査で選考された11者から提出された提案書を加えて、テーマとしてお示しした「ランドスケープ・ミュージアム」や「進化・成長する美術館」に係る課題解決方法、柔軟性、周辺環境の創出に係る提案などから設計者の技術力や資質を評価するとともに、「業務の実施体制」、「ワークショップ等による意見の反映方法」、「コスト管理の体制」、「業務進捗管理の体制」、「そのほかに特に重視する業務体制等」についても審査を行ない、投票と審議を重ねて、三次審査に進む4者を選考しました。

また、本日の三次審査までの間に、二次審査で選考された設計者の代表作品の現地に審査委員が出向いて、現地調査を行ない、建物の完成度、創造性、独創性、ランドスケープの演出などと合わせ、施設管理者へのヒアリングによる運営、管理面からの評価についても、確認いたしました。

最適候補者は、次の点を重視した経験、技量、考え方が高く評価されました。

- ・代表作品にみられる完成度や機能性の高さが実績として評価できる。
- ・与えられた条件の下で提出された提案は、敷地を取巻く条件が緻密に考察されている。
- ・美術館建築において、今後の協議に対する柔軟な対応を含め、技術的に卓越した建築家としての技量が評価できる。

これまでにない丁寧な審査を重ねることにより、長野県の新たな「文化振興の拠点」となる信濃美術館を実現させるに相応しい設計者を選考することができたと考えております。

今後設計を進めていく中で様々な課題を克服し、素晴らしい美術館づくりが実現することを心から望んでいます。

また、本日、インタビューを行った4者はいずれも力のある方々であり、大変難しい審査であったと存じます。

美術館、ランドスケープという建築に対する貴重な技量が集約された、実りある良いプロポーザルと

なつたと存じます。

結びに、本プロポーザルにご参加いただきました全ての皆様の今後益々の御発展を祈念いたしまして、本プロポーザルの講評といたします。

平成 29 年 6 月 5 日

信濃美術館整備事業設計プロポーザル審査委員会
審査委員長 竹内 順一